

# 記 述

# 昭和五年 茨城縣統計書第二編 學事ノ部

## 管 內 學 事 ノ 狀 況

### 總 說

本縣ニ於ケル學事施設ノ狀況ハ大體從來ノ方針ニ基キ施設經營ノ歩ヲ進メ之カ發達進歩ヲ期シツツアリト雖時勢ノ推移ニ伴ヒ教育振興上尙改善ヲ必要トスル所アルヲ認メ初等教育、師範教育、實業教育、社會教育等夫々内容ノ刷新充實ヲ圖リ其ノ實蹟ヲ收メムコトニ努メタリ即チ兒童ノ増加ニ伴ヒ地勢ノ事情ト市町村財政トヲ參酌シ教育資金ノ貸付、基本財産ノ繰入ニ夫々便宜ヲ與ヘ以テ校地ノ擴張、校舍ノ増改築、教授用器具機械等ノ設備ノ改善充實ヲ圖リツツアリ、又教員講習會、研究會、協議會ヲ開催シ教職員ノ素質ノ改善ト資格ノ向上、學力技能ノ修練トニ努メツツアリ、而シテ之カ監督指導ヲ周到ナラシムル爲學事指導員ヲ囑託シ中等教育及初等教育ノ指導獎勵ニ當ラシメ尙教員俸給並年功加俸ノ増額、疾病療治料ノ給與、功勞者ノ表彰ヲ行ヒ教員優遇ノ實ヲ舉ゲムコトニ努メタリ

社會教育ノ普及發展ヲ圖ラムカ爲圖書館又ハ巡回文庫ノ設置ヲ獎勵シ展覽會、講話會、講習會ヲ開催セシメ青年團ニ就テハ國民精神作興ニ關スル詔書ノ御趣旨ヲ恪遵シ内務、文部兩大臣ノ訓令ニ基キ本縣ノ實狀ニ鑑ミ智德ノ練磨ト體育ノ向上トヲ圖リ日進ノ大勢ニ遅レザラムコトヲ期シツツアリ尙補習教育ノ發達ニ順應シテ益々善良ナル氣風ヲ養成スルト共ニ思想ノ善導ヲ圖ラムカ爲各地ニ於テ青年幹部講習會、處女講習會等ヲ開催シ青年訓練所ニ在リテハ常ニ精神ノ修養ト身體ノ鍛鍊トニ意ヲ用ヒ兵營ノ參觀、行軍、演習見學等ヲナシ其ノ歸趨ヲ過ラシメサルコトニ努メタリ少年團ニ於テハ常ニ學校職員指導ヲナシ火防宣傳、公德箱ノ設置等共同一致ノ精神、公德心ノ養成ニ努メ成人教育ニ關シテモ名士ヲ聘シ各種階級者ヲ網羅シ年々之カ施設ヲナシツツアリ更ニ學校教育ト社會教育乃至ハ實業界トノ連絡ニ關シテハ常ニ其ノ交渉ヲ密接ナラシメ互ニ裨補提携シテ其ノ事業ノ振興ヲ圖ラシメツツアリ又視學打合會、各學校長會、其ノ他學事關係職員會ヲ開催シテ學事上ノ施設監督指導等ニ關スル指示、協議ヲナシ苟モ遺漏ナカラシムルコトニ努メタリ

本年度内ニ於テ學事ニ關シ令達シタルモノヲ列舉スレバ次ノ如シ

### 縣 令

- 小學校令施行規則實施規程中改正 (昭和五年五月六日)  
(縣令第一三號)
- 公立學校職員年功加俸支給規程中改正 (昭和五年九月二十六日)  
(縣令第三八號)
- 縣立學校授業料及入學料徵收規則中改正 (昭和五年十月二十八日)  
(縣令第四三號)

- 縣立工業學校學則改正 (昭和六年三月十七日) (縣令第七號)
- 小學校令施行規則實施規程中改正 (昭和六年三月二十四日) (縣令第九號)
- 市町村立小學校教員加俸給與額改正 (昭和六年三月二十四日) (縣令第一〇號)
- 茨城縣立農業補習學校教員養成所規則中改正 (昭和六年三月三十一日) (縣令第一三號)
- 茨城縣立農業學校學則中改正 (昭和六年三月三十一日) (縣令第一四號)
- 茨城縣立中學校學則中改正 (昭和六年三月三十一日) (縣令第一五號)
- 茨城縣立商業學校學則制定 (昭和六年三月三十一日) (縣令第一六號)
- 茨城縣師範學校學則中改正 (昭和六年三月三十一日) (縣令第一八號)
- 茨城縣女子師範學校學則中改正 (昭和六年三月三十一日) (縣令第一九號)

## 訓 令

- 公立學校、圖書館、縣立教育參考館職員旅費支給規則中改正 (昭和五年八月二十九日) (縣訓令甲第二八號)
- 公立學校、圖書館職員旅費規則改正 (昭和五年十月三十一日) (縣訓令第二九號)
- 青年教育更張ニ關スル件 (昭和五年十一月二十八日) (縣訓令甲第三二號)
- 實業補習學校體育科教授要綱 (昭和六年一月十六日) (縣訓令甲第一號)
- 實業補習學校水產科教授要綱 (昭和六年一月二十二日) (縣訓令甲第二號)
- 學事年報取調條項及諸表報告規程中改正 (昭和六年一月二十二日) (縣訓令甲第三號)
- 家庭教育振興ニ關スル件 (昭和六年二月十二日) (縣訓令甲第五號)

## 告 示

- 體育主事職務規程 (昭和五年四月十一日) (告示第一四三號)
- 東茨城郡白河村青年訓練所合併並名稱改稱ノ件 (昭和五年四月十一日) (告示第一六四號)
- 小學校教員試驗檢定施行 (昭和五年四月三十日) (告示第一六六號)
- 茨城縣兒童就學獎勵基金管理規則中改正 (昭和五年五月十三日) (告示第一九五號)
- 茨城縣德川獎學基金管理規則中改正 (昭和五年五月十三日) (告示第一九六號)
- 茨城縣男女青年團體事業獎勵基金管理規則中改正 (昭和五年五月十三日) (告示第一九八號)
- 茨城縣體育獎勵基金管理規則中改正 (昭和五年五月十三日) (告示第一九七號)
- 青年訓練所規程第八條ニ依ル學校課程認定 (昭和五年五月十六日) (告示第二〇二號)
- 夏期文庫開設 (昭和五年七月十五日) (告示第三〇七號)
- 小學校數並位置變更指定(新治郡美並村) (昭和五年七月二十九日) (告示第三三七號)
- 筑波郡鹿島村下小目分教場廢止 (昭和五年八月二十九日) (告示第三八三號)
- 小學校數變更並位置指定(久慈郡金砂村) (昭和五年十月三日) (告示第四四六號)
- 青年訓練所規程第八條ニ依ル學校課程認定 (昭和六年一月十三日) (縣告示第一七號)
- 久慈郡上小川村大澤尋常小學校ニ分教場設置 (昭和六年二月二十四日) (縣告示第八三號)
- 鉾田實科高等女學校ノ授業料額改定 (昭和六年三月十七日) (縣告示第一一一號)
- 古河商業學校名稱並設立者變更 (昭和六年三月三十一日) (縣告示第一四〇號)
- 小學校數變更指定(久慈郡世矢村) (昭和六年三月三十一日) (縣告示第一四八號)

結城實科高等女學校位置指定 (昭和六年三月三十一日) (縣告示第一五一號)  
 可校授業料額 (昭和六年三月三十一日) (縣告示第一五二號)

## 學 齡 兒 童

學齡兒童ノ總數ハ二十八萬六千三十一名ニシテ内男十四萬三千八百九十二名、女十四萬二千三百三十九名ニシテ前年ニ比シ男二千七百九十三名、女二千七百三十九名ヲ增加セリ而シテ就學兒童總數ハ二十四萬七千七百七十三名ニシテ之ヲ前年ニ比スレバ男三千二百二十五名、女三千五百七十二名ヲ增加シタリ就學始期ニ達シタル學齡兒童ニ對スル就學歩合ヲ觀ルニ男九十九名六分一厘、女九十九名三分八厘、平均九十九名五分ニシテ之ヲ前年ニ對比スレバ男ニ於テ四厘、女ニ於テ八厘、平均六厘ノ増加ヲ示セリ就學及出席ノ督勵ニ關シテハ常ニ法規並通牒ノ定ムル所ニ依リ或ハ町村吏員、學校職員、學務委員ヲ督勵シ專ラ勸誘ニ當ラシムルト共ニ學齡兒童保護會及市町村教育會、保護者會、少年團等ノ活動ヲ促シ或ハ部落相互兒童ノ出席督勵ニ從事セシメル等各種機關ヲ通シ之カ實行ニ努メツツアリ就學猶豫免除ノ處分ヲ了シタルモノノ大部分ハ其ノ原因疾病不具者ニシテ貧困ニ原因スル者少キモ之等貧困兒童ノ救濟ニ關シテハ兒童就學獎勵規程ニ依リ町村ヲシテ相當經費ヲ支出セシメ縣ヨリ之カ補助金ヲ年々交付シ救濟ノ方法ヲ講シ就學出席ノ督勵ヲ行ヒツツアリ  
 就學猶豫並ニ免除者ヲ種別スレバ次表ノ如シ

	市			町			村			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
疾病	6	2	8	52	47	99	114	98	212	172	147	319
{ 猶豫	—	—	—	30	27	57	80	110	190	110	137	247
{ 免除	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
貧困	—	—	—	—	1	1	2	5	7	2	6	8
{ 猶豫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
{ 免除	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6	2	8	52	48	100	116	103	219	174	153	327
{ 猶豫	—	—	—	30	27	57	80	110	190	110	137	247
{ 免除	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

學齡兒童ノ調査ニ關シテハ隨時吏員ヲ町村ニ派シ學齡簿、學籍簿、出席簿、其ノ他就學事務ノ檢閲ヲ行ヒ指示注意ヲ與ヘ努メテ帳簿ト實際トノ一致ヲ圖ラシムム様努メタリ尙小學校令第三十六條第一項ノ但書ニ依ルモノノ内師範學校附屬小學校ニ於テ修業スル者ハ男三百七十八名、女三百九十名ニシテ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者男十九名、女十二名アリ

## 小 學 校

小學校ハ市町村立尋常小學校百四十校、分教場五校、尋常高等小學校三百九十五校、分教場百十校、計六百五十校ニシテ之ヲ前年ニ對比スレバ尋常小學校ニ於テ三校、尋常高等小學校分教場ニ於テ一校ヲ減少セリ學校ノ設備ニ在リテハ年々督勵ノ結果漸次完備

ノ域ニ違セムトシツツアルモ逐年兒童ノ増加スルヲ以テ校舍ノ増築、改築、校地ノ擴張ヲ要スルモノ尙尠カラズ市町村立小學校ノ學級ハ尋常科四千百三十六學級、高等科八百九十四學級、補習科一學級、計五千三十一學級ニシテ之ヲ前年ニ對比スレバ四十二學級ヲ増加セリ而シテ其ノ編制タルヤ尋常科ハ單學級ヨリ三十六學級ニ至ル内最多ナルハ六學級ニシテ十二學級之ニ亞ギ高等科ハ單學級ヨリ十八學級ノモノニ至ル内最多ナルハ二學級ニシテ單學級ノモノ之ニ亞ゲリ又制限超過編制ヲナスモノハ尋常高等小學校ニ於テ二十七學級二校、二十八學級一校、二十九學級二校、三十二學級一校、三十三學級一校、三十五學級二校、三十八學級一校、四十學級一校、四十一學級一校、四十四學級一校アリ

學校配置ノ狀況ハ概シテ適當ノ位置ニアリ而シテ地方交通ノ發達ト共ニ兒童通學道路ヲ改修セシメ又學校敷地ノ位置變更ヲナス等常ニ努メツツアルヲ以テ通學上著シキ不便ヲ認メズ補習科ノ設置アルハ尋常高等小學校一校ニシテ前年ニ比シ増減ナク特記スベキ事項亦ナシ

加設科目ハ尋常小學校ニ於テ手工ヲ課スルモノ五十九校、同分教場三校、計六十二校、尋常高等小學校ニ於テ尋常高等兩科共課シ尋常科手工高等科英語ヲ課スルモノ二十二校、尋常科ノミ手工ヲ課スルモノ二百二十校、分教場三十六校、高等科ニ英語ヲ課スルモノ四校、計二百八十二校、總計三百四十四校ニシテ孰レモ該科加設ノ目的ニ從ヒ内容ノ改善ヲ圖リツツアリ

授業料ニ於テハ尋常科ハ徵收セザル方針ナルモ市財政上止ムヲ得ズ尋常小學校四校、尋常高等小學校尋常科一校、計五校徵收シアレトモ貧困兒童ニ對シテハ相當減免ノ方法ヲ講ジツツアルヲ以テ義務教育普及上別ニ支障ヲ認メズ

教員ノ需要供給ニ關スル縣内小學校ノ教員充實歩合ヲ示セバ次ノ如シ

學級別	男	女	別	本科正教員	専科正教員	准教員	代用教員	計	學級ニ對スル本科正教員ノ充實歩合
5,031	}	}	男	3,209	181	347	283	4,020	83.08
			女	971	374	57	185	1,587	
			計	4,180	555	404	468	5,607	

上表ノ如ク本科正教員ハ四千百八十名ニシテ學級數五千三十一學級ニ比スレバ八十三名八厘ノ配置ニ當ル而シテ教員ノ不足並其ノ素質ノ良否ガ兒童教育上ニ及ボス影響頗ル甚大ナルヲ以テ前述セル如ク改善ニ努力シ本科正教員ノ充實歩合向上ニ努メ縣教育會又ハ郡教育會ヲシテ現教員ニ對シ夏季及冬季ニ於テ資格向上養成講習會ヲ開催セシメ試験ノ上正教員免許狀ヲ授與シタルト毎年定期ニ小學校教員檢定試験ヲ施行シ資格ノ向上ヲ計リ需要供給ノ圓滑ヲ計リツツアリ

教員ノ任免ニ就テハ特ニ慎重ニシ可成勳績ヲ獎勵シ一面ニ於テハ市町村ヲシテ義務教育國庫負擔金ノ大部分ヲ以テ教員俸給ニ充當セシメ待遇ノ向上ヲ圖リ尙住宅施設住宅料賃借料等經濟ノ許ス限リ優遇ノ方法ヲ講ゼシメツツアリ

## 幼 稚 園

幼稚園ハ公立七、私立十一ニシテ其ノ數前年ト同數ナリ設備ノ狀況ニ關シ記述スレバ大體公立ニアリテハ小學校ニ附屬シアリ年々之ガ改善設備ニ努メツツアルヲ以テ完備ノ域ニ達シツツアルモ私立ニアリテハ尙設備ノ改善充實ノ急ヲ要スルモノ少カラズト認ム保育狀況ニ關シテモ常ニ保姆ノ研究會視察ヲ行ヒ改善ヲ圖リツツアルヲ以テ良好ナル成績ヲ收メツツアリ幼兒數ハ男六百三十七名、女六百五十四名ヲ收容シ保姆有資格二十九名、無資格十九名ニシテ保姆一人ニ對シ保育兒童平均二十七名弱ニ當ル入園志願者ハ千二百二十七名ニシテ逐年増加ノ傾向ニアリ

## 師 範 學 校

師範學校ハ縣立二校ニシテ其ノ設備ニ關シテハ逐年完備ヲ期シツツアリト雖尙校具、器械、標本等舊式ニ屬スルモノ尠カラズシテ殊ニ專攻科設置ノ關係上改善補充ヲ要スルモノアリ教員ノ需用供給、轉免俸給其ノ他待遇上ニ關スル狀況ニ就キ略記スレバ教員ノ多クハ勤續多年ニ亘リ多少ノ異動アルモ極メテ円滑ニ補充ヲ得待遇ニ關シテハ俸給平均額教諭千四百四十二圓訓導八百二十八圓ニシテ年功加俸ハ教諭二百十六圓乃至百八圓訓導百九十二圓乃至三十六圓ニシテ待遇ノ途モ漸次改善セラレツツアリ有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別ハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員												無 資 格 教 員		計												
	高等師範學校又ハ女子高等師範學校卒業		臨時教員養成所又ハ實業養成所卒業		官立大學校卒業		公立大學校卒業		專門學校卒業		實業專門學校卒業		其ノ他ノ經歷者			試驗檢定ニ依ルモノ		計	無資格教員	計							
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女				男	女					
茨城縣師範學校	8	—	2	—	6	—	4	—	3	—	1	—	1	—	2	—	6	—	33	—	33						
																			△2	—	△2						
																			×	△2	×	△2					
茨城縣女子師範學校	5	—	3	1	1	2	—	2	—	×	△1	—	—	—	1	—	—	4	2	1	13	9	×	△1	—	13	9
	×	△1																			×	△2			×	△3	
計	13	—	3	3	1	8	—	6	—	×	△1	—	—	—	2	—	—	2	4	8	46	9	×	△2	—	46	9
	×	△1																			×	△3			×	△2	
																					×	△2			×	△5	

×印ハ兼務者 △印ハ囑託講師

生徒訓育ノ狀況ハ教育ニ關スル勅語ノ御趣旨ヲ奉戴シ大體前年度ノ方針ニ則リ特ニ學校長ハ必要ニ應ジ隨時訓話ヲ行ヒ生徒ノ自覺修養ヲ促シ校風ノ樹立ヲ圖リ常ニ思想ノ善導ニ留意スルハ勿論、各學科教授ノ際機會アル毎ニ教育者タルノ品性陶冶ニ努メ以テ其ノ信念ヲ鞏固ニシ且體育方面ニ於テモ從來ノ施設ヲ一層徹底的ニ自覺的ニ實行セシメ身體ノ鍛鍊ト健康ノ増進心身ノ修養トヲ圖リツツアリ生徒教練ニ關シテ

ハ本科第一部第五學年同第二部生徒ノ夏季二週間第四學年生徒ノ冬季一週間ノ軍事講習ハ共ニ心身ノ修練ニ資シ軍事ノ理解ニ利シ成績顯著タリ又生徒ニ於テモ常ニ其ノ趣旨ヲ理解シ快活ナル心情ヲ持テ各種ノ興味ヲ鼓吹シアルヲ以テ校風振作ノ上ニ良好ナル影響ヲ與ヘタリ生徒ノ學業ニ就テハ自學自習、自發的活動ニ訴ヘテ研究的態度ヲ養成シ寄宿舎、圖書室ハ勿論學科教室ニモ參考書ヲ備ヘ隨時研究ニ意ヲ注ギ、實驗實習ヲ重ンジ特ニ課外研究ノ制ヲ設ケ實地見學ヲナサシメ實際的智識技能ヲ啓培シ興味ト努力トヲ喚起スル様指導シタル結果學業ノ成績モ大ニ進歩ヲ見ツツアリ生徒ノ修學旅行ハ地理、歴史、理化、人情風俗ニ關スル實地踏査博物採取又ハ研究參觀ノ目的ヲ以テ關西方面ニ旅行シ又ハ縣下各重要個所ニ旅行シ小學校參觀礦物地質研究、史蹟調査ヲナシ豫定ノ目的ヲ達シ尠カラズ其ノ效果ヲ收メタリ

入學志願者ハ千五百五十一名ニシテ前年ニ比シ稍少キ感アルモ之カ入學率ハ十八人弱ノ狀況ニアリ大正十五年度以降ノ入學志願者ヲ示セバ次表ノ如シ

		大 正 十 五 年	昭 和 二 年	全 三 年	全 四 年	全 五 年
師 範 學 校	第 一 部	461	490	543	658	517
	第 二 部	245	227	432	454	542
	專 攻 科	33	67	56	42	28
女 子 師 範 學 校	第 一 部	266	247	378	438	302
	第 二 部	69	78	123	139	157
	專 攻 科	25	11	10	10	5
計	第 一 部	727	737	921	1,096	819
	第 二 部	314	305	555	593	699
	專 攻 科	58	78	66	52	33

尙入學者父兄ノ職業別ハ次表ノ如シ

學 校 名	農 業	水 産 業	鐵 業	工 業	商 業	交 通 業	公 務 自 由 業	其 他 業 者	家 事 用 人	無 職 業	計	
												其 他 業 者
茨 城 縣 師 範 學 校	第 一 部	51	1	2	1	18	—	8	—	—	9	90
	第 二 部	33	—	—	—	8	—	13	—	—	5	59
	專 攻 科	15	—	—	1	2	—	5	—	—	—	23
全 女 子 師 範 學 校	第 一 部	32	—	—	5	10	—	13	—	—	—	60
	第 二 部	10	—	—	—	5	—	11	4	—	—	30
	專 攻 科	4	—	—	—	—	—	1	—	—	—	5
合 計	第 一 部	83	1	2	6	28	—	21	—	—	9	150
	第 二 部	43	—	—	—	13	—	24	4	—	5	89
	專 攻 科	19	—	—	1	2	—	6	—	—	—	28

本年度卒業生ハ師範學校本科第一部九十九名、第二部五十七名、專攻科二十三名、女子師範學校本科第一部七十一名、第二部三十四名、專攻科五名ニシテ孰レモ縣下各小學校ニ就職シタリ

附屬小學校ハ二校アリ外ニ村立小學校ヲ代用附屬小學校トシテ居ルモノ一校アリ其ノ設備ノ狀況ハ稍備ハレリ兒童ノ教育ニ關シテハ大體從來ノ方針ヲ繼承シ教授ハ實力養成ヲ主眼トシテ智識技能ヲ確實ニ收得セシメ自學的態度ヲ馴致育成スルコトニ

努メ以テ教授學習ノ徹底ヲ期セリ尙現今ノ教育學說ヲ斟酌シ教授法ノ改善ニ努ムルト共ニ兒童心身ノ發達ニ留意シ人格陶冶ニ努メ學校ト家庭トノ連絡ニ就キテハ雜誌ヲ發行シ保護者會ノ活動ヲ促シ家庭ヲ訪問スル等協力的ニ兒童ノ教養ニ努メツツアリ又地方教育諸會合ニ講師トシテノ招聘ニ應ジ主事及訓導ハ講話或ハ實地指導ニ出張シ又地方ヨリ來觀スルモノ一層増加ノ傾向ニアリ尙縣下各小學校ノ聯合研究會ヲ開催シ種々ノ共同研究指導ヲナス外青年處女ノ講習、講話ニ出張シ指導訓練ニ努メタリ

## 中 學 校

中學校ハ縣立十校、私立一校ニシテ其ノ設備ノ狀況ハ教育ノ普及ニ伴ヒ學級生徒ノ増加スルヲ以テ校舍、寄宿舎、其ノ他ノ増改築ヲ要スルモノ及教授用具、校具ノ設備不充分ナルモノアルヲ以テ年々之カ整備充實ヲ圖リツツアルヲ以テ漸次整備ニ向ヒツツアリ有資格教員免許狀ヲ受得シタル事由別人員ヲ舉グレバ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員										無 資 格		總 計								
	高等師範 學校又ハ 女子高等 師範學校 卒業	臨時教員 養成所又 ハ實業教 員養成所 卒業	無 試 驗 檢 定 ニ 依 ル モ ノ						試 驗 檢 定 ニ 依 ル モ ノ	計	教 員										
			官立大 學校卒 業		公私立 大學校 卒業		專門學 校卒業					其ノ他 ノ經歷 ニ依 ル者									
			男	女	男	女	男	女				男			女	男	女	男	女		
茨城縣立水戸 中 學 校	2 ×1	—	1	—	3	—	1	—	7	—	—	1	—	10 △1	25 △1 ×1	—	3	—	28 △1 ×1	—	
茨城縣立太田 中 學 校	×1	—	2 ×1	—	2	—	3	—	4	—	—	3	—	5 △1	19 △1 ×2	—	2	—	21 △1 ×2	—	
茨城縣立土浦 中 學 校	2	—	1	—	1 ×1	—	6	—	2	—	1	—	1	—	6 △1	20 △1 ×1	—	1	—	21 △1 ×1	—
茨城縣立下妻 中 學 校	1 ×1	—	—	—	1	—	—	—	9	—	—	—	3	—	7 △1	21 △1 ×1	—	1	—	22 △1 ×1	—
茨城縣立龍ヶ 崎 中 學 校	5 ×1	—	2	—	—	—	—	—	6	—	1	—	2	—	7	23 ×1	—	—	—	23 ×1	—
茨城縣立水海 道 中 學 校	3 △1 ×1	—	2	—	—	—	1 △1	—	3	—	1	—	1	—	7	18 △2 ×1	—	1 ×△2	—	19 △2 ×1 ×△2	—
茨城縣立鉾田 中 學 校	3 △1 ×1	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	14 △1 ×1	—	1 ×△1	—	14 △1 ×1 ×△1	—
茨城縣立日立 中 學 校	4 ×1	—	2	—	3	—	2	—	—	—	—	—	—	—	3 ×1	14 ×2	—	1 △1	—	14 △1 ×2	—

學 校 名	有 資 格 教 員										無 資 格 教 員	總 計											
	高等師範 學校又ハ 女子高等 師範學校 卒業		臨時教員 養成所又ハ 養成所 卒業		官立大 學校卒 業		私立大 學校卒 業		專門學 校卒業					實業專 門學校 卒業		其ノ他 ノ經歷 ニ依ル 者		試 驗 檢 定 = 依 ル モ ノ		計			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				男	女	男	女	男	女	男	女		
茨城縣立 麻生中 學校	3 ×1	—	2	—	1	—	3	—	—	—	1	—	—	—	1	—	11 △1 ×1	—	△1	—	11 △2 ×1	—	
茨城縣立 麻生中 學校	1 ×1	—	2	—	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	8 ×1	—	×△1	—	8 ×1 ×△1	—	
私 立 茨 城 中 學 校	1	—	4	—	×△1	—	2	—	×△2	1	—	—	—	1	—	3 △1	—	12 △1 ×△3	—	2 △4 ×1	—	14 △5 ×1 ×△3	—
計	25 △2 ×9	—	22 ×1	—	14 ×1 ×△1	—	19 △1	—	32 ×△2	—	4	—	12	—	57 △6 ×1	—	185 △9 ×12 ×△3	—	10 △6 ×1 ×△4	—	195 △15 ×13 ×△7	—	

× 印ハ兼務者    △ 印ハ講師

教員ノ需用供給勤續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關シテハ異動者他學校ニ比シ稍永年勤續スルモノ尠キ感アルモ之カ待遇ニ關シテハ年々意ヲ用ヒツツアルヲ以テ教員ノ不足ハ昨今殆ント緩和セラレタリ本年度俸給平均額ハ百二十圓餘年功加俸ハ百八圓乃至二百十六圓ニシテ待遇ノ途ヲ講シツツアリ

生徒訓育ニ就キテハ從來ノ方針ニ則リ品性ノ陶冶ニ努メ質實剛健ノ氣風ヲ涵養シ道徳ノ實踐ヲ督勵シ思想善導ニ就キテハ世態ノ風潮ニ省ミ深甚ナル考慮ヲ拂ヒ各教科ト家庭トノ連絡ヲ計リ批判教授ヲナス等遺憾ナキヲ期シツツアリ

生徒ノ教練ニ關シテハ銳意其ノ目的ノ達成ニ努メ特ニ修身科ノ教授及一般訓育ニ連繫シ之ガ實現ヲ期シツツアルヲ以テ多大ノ效果ヲ收メタルモノト認ム生徒ノ學業ニ關シテハ教授ノ改善進步ヲ圖リ且自學自習ノ趣味ヲ養成シ以テ平素ノ勉學ヲ獎勵スルト共ニ夏季、冬季ノ休暇ヲ利用シ特別教授ヲ施シ尙學業不進ノ生徒ニハ特別復習教授ヲ施ス等學力ノ向上ニ努メ又體育獎勵ニ就キテハ常ニ意ヲ用ヒ身體各部ノ圓滿ナル發達ト天賦ノ活動精神ヲ發揮セシメ協力一致ノ精神ト規律ノ嚴正ノ養成トニ努メ相當其ノ效果ヲ收メタルモノト認ム生徒ノ修學旅行ニ就キテハ地理、歷史、理科等ノ實地研究視察ノ目的ト精神並身體ノ鍛練ニ努メ關東、關西、北陸、奥羽ノ各地方ニ旅行セシメ其ノ效果ヲ收メムコトニ努メタリ

本年度ノ入學志願者ハ千九百三十四名ニシテ前年ニ比シ百七十四名ヲ減ジタルモ入學率ハ七十二名強ヲ示セリ大正十五年度以降ノ入學志願者ヲ示セバ次ノ如シ

年 度	大 正 十 五 年	昭 和 二 年	全 三 年	全 四 年	全 五 年
本 科	2,445	2,641	2,466	2,108	1,934

入學者父兄ノ職業別ヲ示セバ次表ノ如シ

學 校 名	農 業	水産業	鑛 業	工 業	商 業	交通業	公 務 自由業	其 他ノ 業 者	家 使 用 事 人	無 職 業	計
茨城縣立水戸中學校	39 ×3	4	1	17	40 ×4	9 ×2	77 ×10	—	—	16 ×7	203 ×26
茨城縣立太田中學校	82 ×1 △1	—	—	14	14 ×1	2	34 ×2	2	—	×2	148 ×6 △1
茨城縣立土浦中學校	68	—	—	16	26 ×1	1	34 ×1 ×6	—	—	5 △1	150 ×1 ×7 △1
茨城縣立下妻中學校	76 △1	—	—	12	20 ×1	1 ×2	32 ×4 ×1 △1	—	—	7 ×2	148 ×9 ×1 △2
茨城縣立龍ヶ崎中學校	76 ×1	—	—	8	26	4	22 ×1	—	—	4 ×1	140 ×3
茨城縣立水海道中學校	74	—	—	5 ×1	24	4	27 ×2	1	—	3 ×1	138 ×1 ×3
茨城縣立鉾田中學校	67 ×2	—	—	3	13	2	19	×2	—	—	104 ×4
茨城縣立日立中學校	32	1	4	29 ×1	20 ×1 △1	1	16 ×6	—	—	—	103 ×8 △1
茨城縣立 境 中學校	53 ×1 △1	—	—	2	22	—	9	—	—	2	93 ×1 △1
茨城縣立麻生中學校	54 ×1	1	—	6	12	—	7	1	—	1	82 ×1
立 茨 城 中學校	26 ×3 ○3	—	—	4 ×1 ○2	24 ×1 ○1	—	35 ○5	—	—	3	92 ×5 ○11
計	652 ×12 △3 ○3	6	5	116 ×3 ○2	241 ×9 △1 ○1	24 ×4	312 ×31 △1 ×2 ○5	4 ×2	—	41 ×12 △1 ×1	1,401 ×73 ×3 △6 ○11

×印ハ第二學年以上へ轉入學者、\*印ハ第一學年へ轉入學者

△印ハ再入學者 ○印ハ補欠入學者

中學校生徒將來ノ希望狀況ハ時代ノ趨勢ニ伴ヒ上級學校ヲ希望スルモノ大部分ヲ占メ卒業後直ニ實業ニ就カムトスル者減少スルノ傾向ニアリ第四、五學年生ノ希望狀況ヲ示セバ別表ノ如シ

私立中學校ノ設備ニ就キテハ銳意之カ整備充實ニ努メ教授用具、校具等ノ購入ヲナシタル結果現今ニ於テハ教授ニ差支ヲ生ズルコトナキニ至レリ教員ノ需用供給ニ關シテハ有資格教員ヲ相當任用シ目下極メテ圓滑ノ狀態ニアリ生徒訓育ノ狀況ハ水戸學ノ精神ヲ以テ經トシ創立者飯村丈三郎ノ主張タル報恩感謝ノ精神ヲ緯トシテ訓育ニ努メ漸次其成績ヲ擧ゲツツアリ特ニ配屬將校ニ囑シテ生徒監トシ甚大ノ注意ヲ拂ヒツツアリ生徒學業ニ就キテハ創立日尙淺ク未ダ十分ノ進境ヲ見ル能ハザルモ上級學校入學歩合ノ如キハ成績良好ナルヲ以テ漸次進歩ノ跡ヲ認ム

## 高等女學校

高等女學校 = 在リテハ縣立六校、市立一校、私立二校、實科高等女學校ハ町立四校、組合立三校、私立一校ニシテ縣立學校ニアリテハ年々設備ノ充實ニ努メツツアルヲ以テ作法、裁縫、割烹室等新改築ヲナシ又ハ教授用器具、機械、校具等ノ完備ヲ期シツツアルモ町村立、私立ニアリテハ普通教室、特別教室其ノ他ノ新改築ヲナシ銳意設備ノ充實ニ努メタリト雖尙完備ノ域ニ達セザルモノアリ  
有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別人員ハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員														無 資 格 教 員		總 計					
	高等師範學校 女子高等師範學校 卒業		臨時教員養成所 卒業		無試驗檢定ニ依ルモノ										試驗檢定ニ依ルモノ		計		無資格		總計	
					官立大學校卒業		公立大學校卒業		專門學校卒業		實業專門學校卒業		其ノ他ノ經歷ニ依ル者									
					男	女	男	女	男	女	男	女	男	女								
茨城縣立水戸高等女學校	2 *1	4	2	1	1	—	3	—	—	1	—	—	2 △1	7	1	1	11 △1 *1	14	△1	—	11 △2 *1	14
茨城縣立土浦高等女學校	2	5	2	1	*1	—	1	—	*1	3	5	—	—	—	4	3	12 *2	14	—	—	12 *2	14
茨城縣立下館高等女學校	1 *1	2	1	—	1	—	—	1	3	4	—	—	—	1	1	2	7 *1	10	×2 △1	—	7 ×2 △1 *1	10
茨城縣立水海道高等女學校	1	2	—	—	2	—	2	—	—	4	—	—	—	—	1	—	6	6	×1 △1 *△1	—	6 ×1 △1 *△1	6
茨城縣立龍ヶ崎高等女學校	—	3	2	1	2	—	1	—	—	—	—	—	—	2	1 *△1	1 *△1	6 *△1	7	×1	—	6 ×1 *△1	7
茨城縣立太田高等女學校	*1	4	1	1	1	—	1	—	—	—	—	2	—	—	3 *△1	—	6 *△1	7	—	×1	6 *1 *△1	7 ×1
茨城縣水戸市立高等女學校	1 ○1	2	1	—	△1	—	—	—	1	4 △1	—	—	—	—	3	—	6 ○1 △1	6 △1	1	—	7 ○1 △1	6 △1
私立東海高等女學校	—	—	—	—	—	—	2	—	—	4	1	—	—	—	*2	—	3 *2	4	—	1	3 *2	5
私立大成高等女學校	—	—	—	—	*1	—	—	—	2	—	—	2	—	1	1	—	3 *1	3	1	—	4 *1	3
計	7 ○1 *3	22	9	4	7 △1 *2	—	10	1	9 *1	22 △1	1	4	2 △1	11 *△2	15 *2	7 *3 *△2	60 ○1 △1	71 △1	2 ×4 △3 *△1	1 ×1	62 ○1 ×4 △5 *8 *△3	72 ×1 △1
茨城縣石岡實科高等女學校	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	1	—	1	1	3	×3 *△2	1	1 ×3 *△2	4
茨城縣鉾田實科高等女學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	1 *1	1	1	4	×1 *△2	—	1 *1 *△2	4

學 校 名	有 資 格 教 員														無 資 格		總 計					
	高等師範學校又女子師範學校卒業		臨時養成所又教員養成所卒業		官立大學校卒業		公立大學校卒業		專門學校卒業		實業專門學校卒業		其ノ他ノ經歷ニ依ル者		試 驗 檢 定 = 依 ル モ ノ		計		無 資 格 教 員		總 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
茨城縣古河實科高等女學校	—	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	3	×	1	×	3
茨城縣下妻實科高等女學校	—	—	*1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	*1	4	×	2	—	4
茨城縣取手實科高等女學校	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	1	—	—	—	2	—	5	2	*	1	—	2
茨城縣岩井實科高等女學校	—	—	—	—	—	—	—	—	3	2	—	—	—	—	—	—	3	2	△	2	△	2
松原實科高等女學校	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	3	—	—	1	—	2	3	×	1	—	3
私立好文實科高等女學校	—	—	—	—	*△	2	—	—	—	3	—	—	*△	1	—	*△	2	—	*△	5	3	3
計	—	2	*1	—	1	—	2	—	5	8	1	6	1	—	6	4	2	14	×	1	×	17
合 計	7	24	9	4	8	—	12	1	14	30	2	10	3	17	19	9	74	95	5	5	○	100
	○1		*1	*2	△1	—			*1	△1			△1	*3	*3	△1	△1	△1	×	×	△	△
	*3			*2									*1	*4	*10	*2	*7	*8	*1	*2	*11	*15

\*印ハ兼務者 ×印ハ本科正教員ノ免許狀ヲ有シ第二學年以下ノ教授ヲ擔任スル者 △印ハ講師 ○印ハ有資格教諭心得

教員ノ需用供給勤續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關シテハ一般ニ異動少ク退職者アル毎ニ有資格教員ノ任用ヲ見ツツアリ縣立、市立ニ於テハ良好ナルモ町村立、私立ニアリテハ尙改善ヲ要スル所アルヲ以テ之ガ改善ニ努メツツアリ俸給ニ關シテモ年々之ガ向上ニ努メ年功加俸ハ二百十六圓乃至六十圓ヲ支給シツツアリ

生徒訓育ニ關シテハ從來ノ方針ニ基キ學校ト家庭トノ連絡ヲ保チ生徒ノ道德意識涵養ヲ基礎トシ時代ニ適應スル性格ノ養成ニ努メ思想善導ニ留意シ一面溫良貞淑ニシテ志操堅實タル婦徳ノ養成ニ特ニ力ヲ用ヒツツアリ

生徒學業ニ就キテハ常ニ教材ニ對スル確實ナル理解更ニ有效ナル陶冶ヲ育成セムトシテ自學自習的態度ヲ一層旺盛ナラシメ熱心眞摯ナル研究心ノ養成ニ努メ教授方針ノ考究教授方法ノ研究ト共ニ協議ヲナシ教室ヲ半特別學科教室トシ自學主義ヲ鼓吹シ特ニ閱覽圖書ノ指導自學研究室ノ施設等改善ヲ加ヘ生徒學業ノ進歩ニ努メタリ

入學志願者ニ關シテハ公私立ヲ通ジ本年募集人員千五百三十三名ニ對シ入學志願者二千二百三十名ニ達シ之ガ入學率ハ六十九名弱ナリ尙本年度入學者父兄ノ職業別ヲ示セバ次表ノ如シ

學 校 名	農 業	水産業	鐵 業	工 業	商 業	交通業	公 務 自 由業	其ノ他 有業 者	家 事 使用人	無職業	計
茨城縣立水戸高等女 學 校	28 ×1	1	—	16	52 ×1	—	82 *1 ×10	—	—	20 ×1	198 *1 ×15
茨城縣立土浦高等女 學 校	87 ×1	—	—	13	39	—	55 ×1	—	—	5	199 ×2
茨城縣立下館高等女 學 校	59 *1 ×2	—	—	9	30 ×1	—	46 *2 ×5	—	—	8	152 *5 ×3
茨城縣立水海道高等女學校	53 ×2	—	—	7	20 ×1	2	19 *1 ×1	—	—	4 *1	105 *2 ×4
茨城縣立龍ヶ崎高等女學校	46 *1 ×2	—	—	5	24 ×2	—	24 *1 ×2	—	—	1	100 *2 ×6
茨城縣立太田高等女 學 校	38 ×4	—	—	12	20	—	32 ×1	—	—	4	102 ×5
茨城縣水戸市立高等女學校	18	—	1	12	35	—	25	—	—	10 ×1	101 ×1
私立東海高等女學校	14	1	1	11 ×2 ○2	9 ×2 △1	—	8 ×2	—	—	4	48 ×6 △1 ○2
私立大成高等女學校	18	—	—	2	4	—	9 ×1	—	3	5	41 ×1
計	361 *2 ×12	2	2	87 ×2 ○2	233 ×7 △1	2	300 *5 ×23	—	3	61 *1 ×2	1,051 *8 ×46 ○2 △1
茨城縣石岡實科高等女學校	18 ×1	—	—	10	9	1	11	—	3	1	53 ×1
茨城縣銚田實科高等女學校	21 ○9	1	—	1	8 ○4 ×1	—	3 ○1 ×1	—	—	—	34 ○14 ×2
茨城縣古河實科高等女學校	16 *1 △1	—	—	3	21	1	8	—	—	1	56 *1 △1
茨城縣下妻實科高等女學校	18	—	—	1	23 ×4	—	13	2	—	—	57 ×4
茨城縣取手實科高等女學校	34	—	—	3	10	—	8 ×1	—	—	1	56 ×1
茨城縣岩井實科高等女學校	11 ○11	—	—	—	3 ○1	—	5 ○1	—	—	—	19 ○15
松原實科高等女學校	21	1	—	1	10 *1 ×1	—	9 *1	2	—	2	46 *2 ×1
私立東海高等女學校(實科)	5 ○1	1	—	1	3	—	1	—	—	—	11 ○1
私立好文實科高等女學校	15	—	—	1	11	1	4	—	—	2	34
計	159 ×1 ○21 *1 △1	3	—	21	98 ×6 ○5 *1	3	62 ×2 ○2 *1	4	3	7	366 ×4 ○28 *2 △1
合 計	520 ×13 ○21 *3 △1	5	2	108 ×2 ○2	331 ×13 ○5 △1 *1	5	362 ×25 *6 ○2	4	6	68 *1 ×2	1,411 ×55 *11 ○36 △2



學 校 名	有 資 格 教 員										無資格教員				總 計											
	學 位 有 者		大 學 院 院 長 兼 務 者		大 學 院 院 長 兼 務 者		大 學 院 院 長 兼 務 者		大 學 院 院 長 兼 務 者		實 務 員 有 者		其 他													
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計									
茨城縣立笠間農學校	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	△1	—	3	—	△1	—	5	—	1	—	—	—	6	—	6	—
全 大子農學校	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	3	—	1	—	7	—	—	—	—	—	—	—	7	—	7	—
茨城縣小瀬 農 學校	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	1	—	2	—	5	—	1	1	—	—	—	—	6	1	7	—
農 學 校 合 計	—	—	9	—	25	—	2	—	—	—	28	—	19	—	88	—	2	1	8	—	—	—	93	1	94	—
茨城縣立澁水産商業學校	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	5	—	—	—	10	—	—	—	—	—	1	—	11	—	11	—
茨城縣立水戸商業學校	—	—	4	—	14	—	—	—	—	—	5	—	—	—	25	—	—	—	—	—	1	—	26	—	26	—
全 下館商業學校	—	—	1	—	3	—	—	—	—	—	12	—	—	—	16	—	—	—	—	—	△1	—	16	—	16	—
茨城縣古河商業學校	—	—	1	—	3	—	—	—	—	—	4	—	—	—	8	—	1	—	—	—	—	—	9	—	9	—
商業學校合計	—	—	6	—	20	—	—	—	—	—	21	—	2	—	49	—	1	—	1	—	△1	—	51	—	51	—
久慈郡大子女子技藝學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	3	—
行方郡潮來町立女子技藝學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	△1	1	△1	3	3	—
結城郡結城女 學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	△1	—	△1	3	3	—
職業學校合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—	—	—	7	1	1	△2	1	—	△1	1	1	8	9	—

× 印ハ兼務者 △ハ講師

工業學校ハ縣立一校ニシテ其ノ設備ニ於テハ年々改善ヲ加ヘ教授用器具機械ハ勿論其ノ他ニ於テモ充實ニ努メツツアルヲ以テ完備ノ域ニ達シツツアリ  
 教員ノ需要供給待遇上ニ關シテハ常ニ意ヲ用ヒツツアルヲ以テ相當有資格者ヲ任用シアリ待遇ニ關シテモ亦良好ナリ  
 生徒訓育ニ就キテハ從來ノ方針ニ依リ工業家ニ適切ナル品性ノ養成ニ努メタリ生徒學業ニ關シテハ運動體育ノ獎勵ニ伴ヒテ漸次進歩向上シツツアリ特ニ教練ハ査閲ノ結果非常ナル好成绩ヲ示スコトナレリ本年度生徒ノ考査成績ヲ示セバ次表ノ如シ

考 査 生 徒 數	及 第 者 總 數	及 第 生 徒 百 分 率	學 科 總 平 均 点
374	361	96.52	74.84

修學旅行及實習ニ關シテハ工業界ノ趨勢ニ鑑ミ智識ノ開發ヲ圖ラム爲專ラ實務ノ練習ニ力ヲ致シ上級學年ニ對シテハ夏期休暇、冬期休暇ヲ利用シ日立鑛山、水戸機關庫、製氷會社、電車會社等ニ於テ現業練習又ハ實地技術ノ練習ヲナシ應用化學科ニアリテハ理化實驗、定性分析、定量分析、工業分析等ヲナス外製造實習並實驗及釀造ニ關スル實習等ヲ課シ多大ノ效果ヲ收メタリ又關東、關西、北陸、奥羽方面ニ旅行シ會社工場等ノ實地作業及設備ノ狀況ヲ視察シ工業上ノ實際的智識ノ取得ニ努メタリ

本年度募集人員ハ各科約四十五名宛ナリシガ志願者二百七十六名ニ達シ其ノ中ヨリ選抜考査ノ結果應用化學科四十三名、機械科四十五名ノ入學ヲ許可シタリ

學校ト實業界トノ關係ハ地方當業者ト連絡ヲ保チテ鑑定並分析質疑ノ外各種ノ製造註文等ニモ應シツツアルヲ以テ斯業助長ニ多大ノ效果ヲ與ヘタルモノト認ム

農學校ハ縣立九校、組合立一校ニシテ其ノ設備ハ大體前年記述セシ如ク漸次改善セラレツツアルヲ以テ稍完備ノ狀況ニアルモ最近縣移管ノ學校及乙ヨリ甲ニ昇格セル學校ニ於テハ設備ノ急ヲ要スルモノ尙尠カラザル狀況ニアリ

生徒訓育ニ就キテハ其ノ施設ニ於テ各校共多少ノ差異ナキニアラザレドモ要ハ地方ニ適應スル實際農業者タル人格的陶冶ニ努メ國民精神ノ涵養、自治的精神ノ啓發、農村問題ノ中堅人物タル覺悟、農村趣味、勤勞趣味、農業上ノ改善發達ニ必要ナル智識技能ノ修得ニ努メ常ニ生徒ノ個性ト家庭トノ連絡狀況トヲ調査シ適切ナル智識技能ヲ授ケツツアリ修學旅行ニ關シテハ農業經濟ヲ參酌シ成ルベク實地ヲ知ラシメ觀察力、理解力ヲ養成シ見聞ヲ廣カラシメ智育、德育、體育ノ發達ト相俟チテ一層農業ノ趣味涵養ニ努メツツアルヲ以テ其ノ效果良好ニ向ヒツツアリ

生徒ノ學業ニ關シテハ學科實習共ニ生徒ノ勤惰並成績ノ良否ニ付留意シ常ニ周到ナル教授ト督勵トニ努メ尙成績不良ナル者ニ對シテハ特ニ父兄ニ生徒ノ成績ヲ通知シ家庭ト相俟チテ成績ノ増進ヲ圖リツツアリ

入學志願者ハ縣立及組合立ヲ通ジ千八名ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ八百五十三名ニシテ之ガ入學率ハ八十五名ナリ卒業生ノ就職狀況ハ大部分實業従事者ニシテ學校職員之ニ亞ギ上級學校入學者モ年々増加シツツアリ學校ト實業界トノ關係ニ就キテハ努メテ教育ニ際シ社會化ニ勉メ可及的ニ學校ヲ開放シ地方農業者ノ研究ニ資スベク農事相談、各種農産物品評會ノ開催、農場視察、種苗種子種豚ノ分譲、農事講習講話會ヲ開催又ハ講師ヲ派遣スル等農業智識ノ普及改善ヲ圖ラムコトニ努メツツアリ

商業學校ハ縣立二校、町立一校ニシテ其ノ設備ノ狀況ニアリテハ最近縣ニ移管ノモノ乙ヨリ甲ニ昇格ノモノ等アリ未ダ完備ノ域ニ達セザルヲ感ズ生徒訓育ニ就キテハ從來ノ方針ヲ繼承シ商業道德ノ養成ニ最モ重キヲ置キ家庭及個性調査ヲナシ熱誠懇篤ニ指導誘掖範ヲ垂レ例ヲ示シ徳性ノ涵養ニ常ニ薰陶努力シタリ生徒學業ニ就キテモ

常ニ教授法ノ改善ニ注意シ豫習並技術的學科ニ就キテハ特ニ學科主任者任ニ當リ意ヲ注ギタリ又時々學級主任者ヲシテ家庭ヲ訪問セシメ或ハ必要ニ應ジ父兄ノ來校ヲ求メ其他生徒手帳ノ利用等ヲナシ學業ノ發達ヲ圖リツツアリ入學志願者ハ本年度五百二十一名ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ三百四十一名ナリ之ガ入學率ヲ示セバ六十五人強ナリ卒業生ノ就職ニ就キテハ大體實業ニ從事シ尙上級學校入學者モ相當アリ

修學旅行ニ關シテハ關西、關東、奥羽地方ニ旅行セシメ商業上必要ナル智識ヲ收得シ地理、歴史、人情風俗ニ關スル研究ヲナシ智見ヲ與ヘル等裨益スル所尠カラズ生徒實習ニ就キテハ學科教授ト連絡統一ヲ圖リ生徒ヲシテ自發的奮勵ニ依リ研究的態度ヲ以テ從事スル習慣ノ養成ニ努メツツアリ

實業界トノ關係ニ就キテハ常ニ銀行、會社方面ト連絡ヲ保チ特ニ卒業生ヲシテ連絡ヲ密ニシ文書講演ノ方法ニ依リ在校生ヲ指導鞭撻シ又ハ時々實業界ノ名士ヲ招聘シテ講話ヲ求ムル等充分ノ聯絡ヲ圖リツツアリ

水産商業學校ハ縣立一校ニシテ設立日尙淺ク校舍校具ヨリ機械器具ニ至ル迄全部新調ニ付銳意其ノ設備ニ努力スト雖尙不足品アルヲ免レズ補充完備ニ努メツツアリ教員ノ需用供給勤績轉免俸給其ノ他待遇上ニ關シ略記スレバ本年內ニ異動無ク隨テ待遇方法ニ關シテモ之ガ向上ヲ圖リツツアリ

生徒訓育ノ狀況ハ勅語詔書ノ聖旨ヲ奉戴シ實踐躬行ニ努メ校則ヲ恪守シ士魂ト實用ノオヲ養成シ公共心ヲ篤クシ同志協力ノ美風ヲ發揮シ身心ノ快活ト健全トニ依リ心言行ノ一致ヲ期セムコトニ努メツツアリ

生徒學業ニ關シテハ物化實驗室、實踐室ノ設置ヲナシ圖書文庫、講演會ヲ開催シ自學自習研究心ヲ養成シ特ニ水産科ノ爲ニ端艇和船等ヲ各週一回宛操縱練習ヲナシメ又縣水産會ト聯絡シ遠洋漁撈ヲ實地ニ施行スル等學業ノ進歩ヲ期シツツアリ生徒教練ノ狀況モ良ク生徒ニ於テ理解精勵シ成績一般ニ良好ニシテ尠カラズ好影響ヲ與ヘタルモノト認ム

生徒修學旅行ニ關シテハ本校トシテ必要ナル智識技能ノ收得ヲ主眼トシ商業科ニ於テハ奥羽、關東、關西ノ各都會地ニ於テ商業發達地ニ工場會社ヲ見學シ水産科ニ於テハ縣水産會ノ茨城丸ニ便乗シ金華山沖ヨリ北向シ遠ク青森縣沖迄又ハ南下シテ横濱、横須賀方面迄水産ニ關スル實地見學並漁撈ニ從事シタルニ依リ其ノ效果大ナリト認ム生徒實習ノ狀況ハ夏季休業中青森、北海道ニ於ケル製造會社ニ出張シ實地ニ練習シ又ハ養殖場ニ魚類養殖ヲ練習セリ

實業界トノ關係ハ極メテ緊密ニシテ講演會ノ外實業界ノ有方者ヲ聘シ主ナル商品ニ關シ研究指導ヲ受ケ體育方面ニハ斯道ノ權威者ノ熱心ナル後援ヲ受ケツツアリ職員モ實業界ニ於ケル智識階級ノ會合ニ出席シテ連絡ヲ圖リツツアリ

職業學校ニ屬スル女子技藝學校ハ三校ニシテ組合立一校、町村立二校ナリ之ガ設備ノ狀況ハ銳意改善充實ヲ圖リツツアリト雖經費ノ關係上校舍ノ修改築、器具機械圖書ノ補充購入ニ止リ積極的設備ヲナスニ困難ノ狀況ニシテ未ダ完備ノ域ニ達セザルモノ

ノ如シ

教員ノ需要供給待遇上ニ關シテモ銳意之ガ改善向上ニ努メ成ルベク有資格者ノ任用ニ努メツツアルヲ以テ向上進歩ノ氣運ニ向ヒツツアリ

生徒訓育ニ關シテハ從來ノ方針ニ則リ質朴從順ノ美風ヲ益々助長シ技能ノ發達ニ最モ留意シ地方的實際的女子タラシメムトスル教養ニ意ヲ用ヒ勤勞ノ良習體驗ヲ重ンズルト共ニ他面ニ於テ優美ナル心情閑雅ナル舉動ヲ保タシメ實際的運用ヲ圓滑ナラシメタリ

生徒學業ニ於テハ各科教授共其ノ參考書器具機械標本等ノ不備ノ憾アレドモ改善ヲ加ヘ常ニ熱心ニ教授シ特ニ裁縫手藝ノ如キハ懇切ニ指導シ殊ニ新進ノ氣銳ヲ以テ之ニ當ル結果其ノ進歩ノ跡ヲ認ム

### 實業補習學校

實業補習學校ハ總數四百八十二校ニシテ之ヲ種別スレバ市立四校、町村立四百七十七校、私立一校ナリ尙之ヲ實業科目ニ區別スレバ工業一校、農業四百四十三校、水産六校、商業十二校、農業商業十三校、農業水産五校、水産商業二校ナリ之ヲ前年度ニ對比スレバ農業ニ於テ九校減ジタルモ商業ニ於テ一校ヲ増加シ總數ニ於テ八校ヲ減少セリ而シテ市町村立ハ大部分小學校ニ附設セラレ季節制ニ屬スルモノニシテ隨テ教員モ小學校教員ヨリ兼務スルモノ多シ私立ハ日本鐵業株式會社日立鐵山ニ於テ會社内ニ附設セルモノニシテ教員モ又同會社員ナルヲ以テ相當有資格者ヲ任用シ需要供給上何等支障ヲ認メズ公立學校專任教員ハ有資格百六十二人無資格三十三人ニシテ其ノ資格別人員ヲ示セバ次表ノ如シ

	男							女						
	校長	教諭	助教諭	教心	諭得	助教諭得	講師	教諭	助教諭	教心	諭得	助教諭得	講師	
大學卒業又ハ學士ト稱スルコトヲ得ルモノ	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
文部大臣ノ指定シタルモノ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
文部大臣ノ認可シタルモノ	1	1	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	
師範學校中學校高等女學校教員免許狀ヲ有スルモノ	—	8	—	—	—	—	—	15	1	—	—	—	—	
實業學校教員免許狀ヲ有スル者	—	11	1	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	
實業補習學校教員資格ノ指定學校卒業	—	9	30	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	
小學校本科正教員ノ免許狀ヲ有スルモノ	—	3	11	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	
專科正教員ノ免許狀ヲ有スル者	—	3	12	—	—	—	—	4	36	—	—	—	—	
尋常小學校本科正教員ノ免許狀ヲ有スル者	—	—	6	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	
其 他	—	—	—	—	—	2	10	—	—	—	—	3	18	
總 計	1	36	60	—	—	2	10	22	48	—	—	3	18	

教員ノ需要供給勤續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ就キ記述スレバ兼任者ニ於テハ小學校教員ノ異動ニ伴ヒ轉免ノ止ムナキモ專任者ニ於テハ比較的永ク勤續シ俸給ニ於テモ頗ル向上ノ途ヲ講ジ年功加俸ハ七十二圓乃至百六十八圓ヲ支給シアリ生徒訓育ニ就キテハ特ニ意ヲ用ヒ青年團、處女會、青年訓練所ト聯絡ヲ保チ其ノ地方青年トシテ訓育ニ努メ學業ニ於テモ其ノ地ニ適切ナル實業科目ヲ課シ其ノ實績ヲ舉ゲムコトニ努メツツアリ入學志願者ニ關シテモ補習學校獎勵委員ヲ委囑シ入學出席ノ督勵ヲナシタリ

實業界トノ關係ハ常ニ實習地ニ於ケル作物栽培ニ注意シ地方ニ範ヲ示シ部落講演、講習ニ教員出席シ實地指導ヲナス等其ノ實績ヲ舉ゲムコトニ努メタリ

### 實業補習學校教員養成所

農業補習學校教員養成所ハ縣立一校ニシテ大正十一年四月實業補習學校教員養成所令ニ依リ茨城縣立水戸農學校ニ加設セラレ修業年限一ケ年ナリ其ノ設備ノ狀況ハ年々之カ充實ヲ圖リタル結果着々完備ノ域ニ達シツツアルモ尙農學校分ヲ併用スルモノアリ教員ハ專任者二名ニシテ其ノ他ハ縣立農學校及縣補習學校主事、社會教育主事等ノ兼務者ナリ其ノ有資格教員免許狀ヲ受得シタル事由別ハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員										無資格教員				總 計			
	學位ヲ有スル者		文部大臣ノ指定ル者		文部大臣ノ認シタル者		高等學校教員免許狀ヲ有スル者		師範學校高等學校教員免許狀ヲ有スル者		實業學校教員免許狀ヲ有スル者		計					其 他
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女

茨城縣立農業補習學校教員養成所	—	—	×	1	—	×	2	—	1	—	—	×	2	—	—	×	2	—	×	2	—	×	7	—	×	7	—	×	5	—	×	5
-----------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

生徒訓育ニ就キテハ本所所定ノ訓育要綱ニ從ヒ既往ノ經歷及個性ニ留意シ充分長養短補ノ實ヲ舉ゲ教育者トシテノ必要ナル素質ノ陶冶ト能力識見ノ養成ニ努メ職業觀念ヲ明確ニシ業務ニ通シテ生クル信念ヲ與ヘシムルニ努メツツアルヲ以テ學業ノ成績モ亦大ニ見ルベキモノアリ修學旅行ニ關シテハ北海道方面ニ旅行シ優良補習學校ヲ見學シ其ノ他試驗場農場ノ經營施設ノ實情ヲ觀察セシメ實際上ノ智識開發ニ努メタリ生徒研究實驗實習ニ關シテハ常ニ勤勞ノ慣習ヲ養フヲ緊要ナルヲ以テ諸般ノ作業ヲ實地ニ指導シ之ガ農業ニ關スル教員トシテノ素質養成ニ努メタリ本年度入學志願者ハ六十一名ニシテ前年ニ比シ十三名ノ増加ヲ示セリ尙入學者父兄ノ職業別ハ次表ノ如シ

學 校 名	農 業	水産業	鐵 業	工 業	商 業	交通業	公 務 自由業	其ノ他ノ 有業者	家 事 使用人	無職業	計
茨城縣立農業補習學校教員養成所	28	—	—	—	—	—	1	1	—	—	30

## 盲學校及聾啞學校

盲學校ハ縣立一校、私立一校ニシテ聾啞學校ハ縣立一校ナリ其ノ設備ノ狀況ニ就キテハ縣立盲學校聾啞學校ハ設立日尙淺ク設置當時ヨリ教場ノ狹隘ナルニ年々生徒増加シ且特種教育ナル關係上特別教室ノ必要ヲ感ジツツアルヲ以テ其ノ後増築ヲナシタリト雖尙増築ノ必要ヲ認ム教授用器具機械ニ於テモ普通兒ノ教育ニ比シ一層多クノ教便物ヲ要スルニ付年々之ガ充實ニ努メツツアルモ尙遺憾トスル所アリ

私立ニ係ル土浦盲學校ハ大正十四年四月新校舍ニ移轉後諸般ノ設備充實ニ努メタル結果漸次完備ノ域ニ達シツツアルモ未ダ充分ナラズ

教員ノ需用供給其ノ他ヲ略記スルニ特殊教育ニ従事スルモノナレバ比較的養成機關不完全ナル爲斯種教員養成所出身者少ク有資格教員ノ採用ニ困難ヲ感ジツツアルモ異動比較的少ク待遇方面ニ於テハ斯種教育ハ教員ノ練ト犠牲的精神トヲ最要ノ條件トスルヲ以テ待遇方面ニ就キテモ常ニ向上ヲ圖リ極力異動ナキニ努メツツアリ生徒訓育ニ就キテハ個性ノ調査ヲ周密ニシ特ニ盲聾啞者トシテノ通有ノ缺陷ノ矯正ニ努メ一面個性ノ特質ニ應ジ個別的指導ト擁護トニ力ヲ致シ將來有用ナル國民タルコトニ努メツツアリ

生徒學業ニ關シテハ教授法ノ改善ニ留意シ教材ノ研究ヲナシ實物模型或ハ實地ノ動作ニ訴ヘテ觸接摸索セシメ努力シツツアルヲ以テ一般ニ良好ナリ

生徒失官原因ヲ區別スレバ次表ノ如シ

失官原因	茨 城 縣 盲 學 校						茨 城 縣 土 浦 盲 學 校					
	初 等 科			中 等 科			初 等 科			中 等 科		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
主 來	2	—	2	3	—	3	—	—	—	—	—	—
斗 傷	1	—	1	2	1	3	—	—	—	—	—	—
角 膜 實 質 炎	—	1	1	5	—	5	2	1	3	4	—	4
角 膜 濃 漏 眼	—	—	—	2	—	2	—	—	—	—	—	—
視 神 經 萎 縮	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—
強 度 近 視 眼	—	—	—	4	—	4	—	—	—	—	—	—
ト ラ ホ ー ム	2	—	2	2	1	3	1	—	1	—	—	—
瘡 疹	—	3	3	2	—	2	—	—	—	—	—	—
角 膜 潰 瘍	—	—	—	4	2	6	1	2	3	—	1	1
風 眼	1	—	1	—	2	2	—	—	—	—	—	—
白 內 症	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鞏 膜 炎	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—
遺 傳 梅 毒	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
色 素 性 網 膜 炎	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—

失官原因	茨城縣盲學校						茨城縣土浦盲學校					
	初等科			中等科			初等科			中等科		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
眼球内結核	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
虫眼	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—
視神經消耗症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2
計	7	6	13	28	6	34	4	3	7	6	1	7

茨城縣聾啞學校

失官原因	初等科			中等科		
	男	女	計	男	女	計
腦膜炎	7	2	9	1	—	1
腦打撲	1	—	1	1	—	1
中耳炎	4	—	4	1	—	1
先天性	18	11	29	2	3	5
未詳	2	1	3	—	—	—
計	32	14	46	5	3	8

各種學校

各種學校ハ總數四十四校ニシテ何レモ私立ナリ内中學校ニ類スルモノ三校、高等女學校ニ類スルモノ三校、其ノ他三十八校ニシテ之ヲ前年ニ比スレバ其ノ他ニ於テ二校ヲ減少セリ其ノ設備ニ就キ記スレバ中ニハ設備完全ナルモノアルモ多クハ個人經營ニ係ルヲ以テ維持困難ニシテ其ノ設備充分ナラザルモノアリ然レドモ相當教員ヲ有シ良ク各校校則ニ依リ教授法ノ研究ヲナシ教授用具ノ改善充實ニ努メツツアルヲ以テ漸次成績進歩ノ狀況ニアリ入學志願者モ年々増加シ地方青年處女教導ノ爲裨益スル所多シ

學校園及植栽

學校園ハ教育上須要ナルヲ以テ各學校共學園ノ未設置ナルモノナク之ガ整備ヲ期シツツアリ學林ハ概ネ山間部ノ學校ニ於テ設置シアリ中ニハ廣大ナル面積ヲ有スルモノアリテ其ノ成績良好ナリ而シテ學園學林ハ受持教員指導ノ許ニ生徒兒童ヲシテ直接植栽手入等ニ當ラシメツツアルヲ以テ教授上又調育上ニ效果ヲ及ボスモノ多ナルヲ認ム

## 教員檢定及免許狀授與

小學校教員ノ檢定試験ハ毎年二回、無試験ハ隨時之ヲ施行セリ而シテ本年度ニ於ケル檢定總員數ハ男八百三十名、女二百五十八名ナリ内合格者男二百九十八名、女百二十八名ナリ其ノ他師範學校卒業ニ依ルモノ男百五十六名、女百五名ニシテ免許狀授與總人員ハ男四百五十四名、女二百三十三名ニ達セリ

## 教科用圖書

本年度ニ於ケル教科用圖書ノ需要供給ニ關スル狀況ハ概ネ成績良好ナリ

## 社會教育

(イ) 圖書館ハ公立五十三館、私立四十館、計九十三館ニシテ前年ニ比シ二館ヲ増加シタリ而シテ其ノ設備ノ狀況ハ漸次諸般ノ設備ニ改善ヲ加ヘ發達ヲ圖リツツアリト雖閱覽人員ノ激增ニ伴ヒ狹隘ヲ告ゲ適切ナル設備ヲ施ス能ハズ其ノ他ノ圖書館ニ在リテモ概シテ完全ナリト言フヲ得ズ圖書冊數ハ十五萬三千七百八十八冊閱覽人員二十九萬五千三百十五名ナリ巡回文庫ノ施設ヲナスモノ二館ニシテ他ハ簡易圖書館多ク青年團ノ經營ニ係ルモノ又ハ學校ニ附設セルモノアリ地方改善通俗教育上裨益スル所多シ

(ロ) 教育參考館ハ大正天皇ノ御即位大禮ヲ記念シ社會教育及學校教育ニ資スル目的ヲ以テ設置シタルモノナリ陳列品ノ總數ハ三千三百七十四點ニシテ主ナルモノハ剝製動物標本、植物及礦物標本、電氣機械、工學機械、其ノ他機械、模型等何レモ理學、工學、歴史ニ關スル參考品其ノ他等ナリ

閱覽人員ハ三萬八千七百五十四名ニシテ一日平均百十五名強ニ當ル團體組數ハ百三組ナリ其ノ種類別ハ學生生徒兒童最モ多ク各種團體及一般人之ニ次ギ婦人ノ來館者又近來一層増加ノ傾向ニアリ社會教育上裨益スル所多キヲ認ム

教育品展覽會ハ父兄懇話會、學藝會、其ノ他教育的會合ヲ利用シ同時ニ生徒兒童ノ成績品展覽會ヲ併セ開催スルモノ多ク公衆一般ノ縱覽ニ供シ又家庭トノ連絡及向學心ノ振興ヲ圖リ教育上好影響ヲ及ボス所尠カラズ

(ハ) 青年團

青年團ニ就キテハ時代ノ進展ト青年ノ自覺トニ依リ各市町村共之ヲ設置シ男青年團ハ三百八十一團體ニシテ各町村聯合シテ郡青年團ヲ組織シ更ニ縣青年團ニ統一セラレ會員數五萬四千四百七人ヲ有ス之カ教養指導ニ就キテハ社會教育主事專ラ之ニ當リ内務、文部兩大臣ノ訓令ニ基キ時運ニ稽ヘ又地方ノ實際ニ徴シ尖々適切ナル施設ヲ

ナシ殊ニ体育ノ獎勵ト思想ノ善導トニ就キテハ青年大會、體育指導者講習會、青年幹部講習會ヲ開催シ身體ノ鍛練ト精神ノ修養ニ資スル所大ナリ郡市及町村青年團ニ於テモ學校職員青年幹部地方有志等各種修養施設ヲナシ其ノ主ナルモノハ辯論會、講演會、講話會、中堅青年講習會、圖書館ノ開設、會報ノ發行、道路改修、勤儉貯蓄ノ實行、補習教育、青年訓練所ノ就學獎勵等心身ノ修養鍛練社會奉仕ノ爲殆ト其ノ撥ヲ一ニシツツアリ女子青年團ニ於テモ團數三百八十三團體ヲ有シ團員三萬六千五百五名ニ達シ前年ニ比シ二團體ヲ増加セリ縣聯合女子青年團ハ創立日尙淺キ爲男青年團ニ比シ遺憾ノ点ナシト云フヲ得ザレドモ斯道向上ノ爲努力シツツアルヲ以テ漸次改善セラレツツアリ其主ナル事業ハ勤儉貯蓄、會報ノ發行、敬老會、風俗習慣ノ改善、裁縫作法割烹等ノ講習會、講演會等ヲ開催シ良好ナル成績ヲ收メツツアリ

(ニ) 少年團

男女少年團ハ何レモ小學校ニ附設セラレ學校兒童ヲ以テ組織セラレ銳意其ノ本義ノ普及徹底ニ努メツツアル結果良好ノ域ニ達シツツアリ次ニ其ノ團體ヲ示セバ

	男	女	計				
			男	女			
團體數	26	10	53	89			
正團員	十六才未滿	3,381	1,435	8,668	8,119	12,049	9,554
	二十才未滿	14	—	37	10	51	10
	計	3,395	1,435	8,705	8,129	12,100	9,564

本年度收入總額					本年度支出總額
市町村費	團員離出額	寄付金	其ノ他	計	
619	120	867	313	1,919	1,744

而シテ其ノ主ナル施設ヲ舉グレバ就學獎勵、自習會、講演會、書籍ノ購讀、時ノ宣傳、交通、衛生、火防ノ宣傳、公德事業、軍事的訓練、交通整理、道路ノ改修等ナリ

(ホ) 成人教育

成人教育ニ關シテハ年々之ガ講習會ヲ水戸市ニ開催セシモ本年ハ之ガ施設ヲナサザリキ然レトモ社會教育主事斯ノ方面ノ指導ニ意ヲ注ギ其ノ目的達成ニ努メ相當效果ヲ收メタルモノト認ム

## 教 育 會

縣教育會ハ社團法人ニシテ縣下各郡市教育會ヨリ成リ其ノ事業ノ主タルモノハ教員ノ養成、講習會、教育講演會ノ開催、視察員ノ派遣、夜間中學ノ經營、教育上ニ於ケル諸問題ノ研究、教科書ノ調査編纂、機關雜誌、兒童讀本ノ發行又ハ名士ヲ聘シ通俗講話會及夏期

大學ヲ開催スル等一般教職員ノ研究修養ニ資スルト共ニ小學校及補習教育上裨益スル所頗ル多シ

本年度ニ於テ教員保母講習會ノ開催ハ次ノ如シ

名	稱	主催者	講習員ノ資格	講習科目	講師數	講習日數	講習人員	講習證人	書員
教員養成講習會		茨城縣教育會	尋正以上	教育科	3	6	312		300
全	全	全	全	音樂科	2	6	270		260
全	全	全	全	手工科	1	6	66		63
全	全	全	尋准以上	圖畫科	1	6	82		80
全	全	全	全	体操科	4	6	87		85
夏季大學	全	全	小本正	經濟學	1	3	68		65
全	全	全	全	農村問題	1	2	121		120
全	全	全	全	教育哲學	1	3	297		290
冬季講習	全	全	全	農村讀本	1	3	104		100
農業實習講習	全	全	小學校長 補習學校長 農業科教員	農業教育 實習修養 精神	9	5	30		28
計	10回				24	46	1,437		1,391

郡市教育會ハ郡市内教育關係者有志ヲ以テ組織シ經費ハ基本金ノ利子、市町村費ノ補助、會員ノ負擔及寄附金等ヲ以テ維持シツツアリ其ノ事業ハ就學獎勵、教員ノ養成、講習講話、圖書館ノ施設、雜誌ノ發行、學事研究視察、優良兒童ノ表彰、教育功勞者ノ表彰等ニシテ地方教育上貢獻シツツアリ

## 教育ニ關スル法人

教育ニ關スル法人ハ總數十六團體アリ内社團法人ニ係ルモノ九團體、財團法人ニ係ルモノ七團體ナリ尙之ヲ種別スレバ學校ニ屬スルモノ四、教育會六、其ノ他六團體アリ

## 青年訓練所

青年訓練所ハ縣下各市町村ニ設置セラレアリ現在數公立三百九十八所、私立三所ナリ之ヲ前年ニ對比スレバ一ヶ所ヲ主トスルヲ以テ二所合併セラレタリ而シテ實業補習學校ノ充當ニ就キテハ青年訓練所令ノ本旨ニ稽ヒ之ガ實施ニ當リテハ補習學校ト連携ヲ充分ニ保チ指導員モ補習學校職員ヲ囑託シアリ又私立青年訓練所ハ三所トモ工場ニ設置シアリ訓練生ハ其ノ工場ニ雇傭セラルルモノヲ收容シ居ルガ爲入所出席共ニ其ノ歩合良好ニシテ訓練ノ實績亦優良ナリ

訓育ノ狀況ニ就キテハ學科ハ學校職員、教練ハ在郷軍人タル指導員之ヲ擔當シ教練ニ關シテハ銃器ヲ購入セル訓練所増加シ其ノ經營ニ關シテハ細心ノ注意ト努力トヲ盡シアリ就中各訓練所ヲ聯合シ演習ヲナスモノ、行軍、軍事視察、演習參觀、其ノ他體育、智識



			市町村立 小學校	師範學校	公中學校	公立高等 女學校	公立實業 學校	公立實業 補習學校	農業補習 學校養成 所	盲學校	聾啞學 校	公立 幼稚園
樺太	人日	員數	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旅費總額	費費費費費費	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	縣市町教 育員計	費費費費費費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	村會出 醜會費	費費費費費費	80	—	—	—	—	—	—	—	—	—
滿支	人日	員數	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	旅費總額	費費費費費費	—	—	—	32	—	—	—	—	—	—
	縣市町教 育員計	費費費費費費	—	—	—	30	—	—	—	—	—	—
	村會出 醜會費	費費費費費費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
五那	人日	員數	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旅費總額	費費費費費費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	縣市町教 育員計	費費費費費費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	村會出 醜會費	費費費費費費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	人日	員數	3,996	66	193	180	142	264	7	3	6	13
	旅費總額	費費費費費費	19,861	510	941	936	955	1,042	17	11	12	48
	縣市町教 育員計	費費費費費費	—	1,949	4,720	1,938	4,059	—	44	84	100	—
	村會出 醜會費	費費費費費費	439	—	—	142	—	—	—	—	—	23
	縣市町教 育員計	費費費費費費	37,918	—	—	308	279	2,706	—	—	—	97
	村會出 醜會費	費費費費費費	3,130	—	—	—	—	12	—	—	—	17
	縣市町教 育員計	費費費費費費	—	—	—	269	—	—	—	—	—	—
	村會出 醜會費	費費費費費費	—	—	—	—	15	—	—	—	—	—
	縣市町教 育員計	費費費費費費	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	村會出 醜會費	費費費費費費	120	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	縣市町教 育員計	費費費費費費	—	—	730	—	—	—	—	—	—	—
	村會出 醜會費	費費費費費費	—	—	—	488	137	—	—	—	—	—
	縣市町教 育員計	費費費費費費	65	—	—	—	—	—	—	—	—	—
村會出 醜會費	費費費費費費	115	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
縣市町教 育員計	費費費費費費	18	—	—	—	—	—	—	—	—	7	
村會出 醜會費	費費費費費費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
縣市町教 育員計	費費費費費費	41,845	1,949	5,450	3,145	4,490	2,718	—	44	84	100	144

## 學校衛生

1、(イ) 學校醫ノ設置シアル公立學校、幼稚園、青年訓練所ニ就キ類別スレバ小學校五百十九校、師範學校二校、中學校十校、高等女學校十四校、實業學校十八校、實業補習學校八校、盲學校一校、聾啞學校一校、青年訓練所二十所、幼稚園一園ニシテ兼務者多ク、之ガ實人員ハ三百五十一名ナリ、而シテ學校視察ノ狀況ハ定期檢査ノ外「トラホーム」檢診治療、寄生虫及頭虱ノ驅除、口腔衛生ノ實施ニ盡力スルト同時ニ時々一般衛生ニ關スル講演會等ヲ開催シツツアルヲ以テ年々成績ノ向上ヲ示シツツアリ尙飲料水、寄宿舍等ニ就キテハ特ニ注意シ專ラ生徒ノ保健ニ努メツツアリ就中中等學校ニ於テハ比較的衛生設備シ居ルモ其ノ他ニ於テハ尙充分ト認メ得ザルヲ以テ一層之ガ改善進歩ニ努メムトス學校醫ノ實人員ヲ資格別ニ區別スレバ次ノ如シ

- 一、帝國大學醫科大學醫學科卒業者 十五名
- 二、官立醫學專門學校醫科及元高等學校並高等中學校醫學部選科卒業者 二名

三、元東京大學醫學部本科又ハ別科卒業者	百三十三名
四、大阪府京都府愛知縣醫學校及府縣立甲種醫學校卒業者	十九名
五、東京帝國大學醫科大學國家醫學講習科修了者	六名
六、其ノ他醫術開業免狀ヲ有スル者	百七十六名
計	三百五十一名

(ロ)「トラホーム」ハ兒童生徒間ニ比較的多キニ付之ガ撲滅ヲ計ラム爲眼科醫ヲ設置スルモノ四校アリ眼科醫師四名手當年額三十三圓ヲ支給シアリ

(ハ)學校看護婦ハ學校衛生上並兒童生徒ノ健康上必要ヲ生シ現在學校看護婦ヲ置ク學校五校看護婦五名手當六百六十圓ヲ支給シ衛生保健上效果多シ

2、衛生設備、教授衛生、體育運動ニ關スル狀況

(イ)衛生設備ニ就キテハ先ツ校地ノ選定及校舍ノ建築等ニ校醫ト協調ヲ遂ゲ其ノ他屋外體操場、便所、水呑所、井戸、寄宿舎、教授用器具機械等ノ改善ニ留意シツツアリ

(ロ)教授衛生トシテハ通學最遠里程及方法、學級人員、授業時間後ノ休息睡眠時間等ニ留意シ尙毎學期一回以上座席交換最前列兒童ト教壇トノ距離机ノ配列、机腰掛ノ位置釣合、季節的時間割ノ變化劣等兒教育病的兒童ノ取扱等ニ對シ學校醫ト協力シ努メツツアリ

(ハ)體育運動ノ振興ニ關シテハ逐年其ノ氣運ハ向上セラレ女子中等學校體育聯盟及指導者體育聯盟等ヲ組織シ最近男子中等學校ニ於テモ之ガ實現化セラレムトシアリ相當運動獎勵ニ努メ各校共運動デーヲ設ケ運動會開催多數校聯合シ試合及運動會ヲ開催スル等相當效果ヲ收メツツアリ

3、職員生徒兒童ノ健康狀態ニ關スル狀況

(イ)職員疾病ニ依リ退職休職死亡者ハ左ノ通りニシテ概シテ少ク良好ナル成績ヲ舉ゲツツアリ

	退 職 者	休 職 者	死 亡 者
小 學 校 職 員	16		16
補習學校職員(專任者)	—		—
中 等 學 校 職 員	2		1
計	18		16

(ロ)生徒兒童ノ健康狀態ノ優良ナラザルモノハ其ノ主タル病類別ヲ見ルニ齶齒、トラホーム、寄生虫、扁桃腺肥大、脊柱後彎等ニシテ校醫モ之ガ豫防及加療ニ就キテハ相當盡力セラレツツアリ

4、發病豫防及治療施行ノ狀況

學校職員生徒兒童ニ於テ身體ニ異狀アル者ニ對シテハ直ニ校醫ニ診療ヲ求メ其ノ病狀ニ依リ入院又ハ歸宅治療ヲ命ズル等萬遺憾ナキヲ期シツツアリ

5、學校給食ニ關シテハ貧困兒童ニ對シ辨當ヲ給シ又ハ短期間ニ於テ牛乳等ヲ給與スル

學校モアリ

## 縣會及市町村會

縣市町村會ニ於ケル學事ニ關スル議事ノ狀況ハ慎重ニ審議セラレ協賛ヲ與ヘ他ノ事項ノ如ク漫リニ削減スルコト無ク穩當ノ決議ヲナシツツアリ

## 學事關係職員及學事視察

本縣學事關係職員ハ書記官一名、地方事務官一名、地方視學官一名、學校衛生技師一名、社會教育主事一名、體育運動主事一名、視學七名、屬十名、社會教育主事補二名、實業補習教育主事一名、雇四名、囑託一名ナリ市ニアリテハ主事一名、視學一名、書記一名ナリ

本年度學事視察ハ視學官、師範學校長、視學ハ專ラ學校設備教授訓練發護ノ良否並教育事務ノ整否ヲ社會教育主事及社會教育主事補ハ專ラ青年訓練所、青年團、女子青年團等ノ經營施設ノ狀況ヲ視察シ實業補習教育主事ハ補習學校ニ關シ學校衛生技師ハ專ラ學校衛生ニ關スル視察ヲナセリ而シテ小學校ニ就キテハ評密視察、概要視察ノ外教授ニ亙リ視學ヲシテ徹底的ニ視察ヲナサシメタリ又市町村ニ於テハ三名乃至二十名ノ學務委員ヲ置キ夫々區内ノ教育事務ニ關シテハ勿論市町村長ヲ補佐シ機會アル毎ニ學校ニ臨席シ諸般ノ設備其ノ他ニ關シ委員會ヲ開キ就學出席ノ督勵ニ努メ相當活動ヲナシツツアリ

本年度學事關係職員並師範學校長學事視察ノ狀況ハ次表ノ如シ

	長官		學務		視學官		地方		視學		屬		社會教育		實業補習		學校衛生		師範		計				
	回數	日數	回數	日數	回數	日數	回數	日數	回數	日數	回數	日數	回數	日數	回數	日數	回數	日數	回數	日數	回數	日數	延數	實數	延數
小學校	—	—	3	3	16	21	5	5	171	592	32	36	—	—	20	14	45	37	2	2	1,012	294	715	710	
師範學校	1	1	1	1	3	3	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	6	6	6
中學校	1	1	6	8	19	20	3	4	—	—	—	—	—	—	—	—	12	9	—	—	47	41	42	42	
高等女學校	1	1	4	5	6	12	3	4	—	—	—	—	—	—	—	—	9	7	—	—	36	23	32	29	
實業學校	1	1	2	2	8	17	2	2	—	—	—	—	—	—	18	24	7	6	—	—	43	38	53	52	
實業補習學校	—	—	1	1	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	66	54	—	—	—	—	69	69	57	57	
實業補習學校教員養成所	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	
盲學校	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	
聾啞學校	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	
各種學校	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	
青年訓練所	—	—	2	2	—	—	2	2	—	—	—	—	—	23	42	—	—	—	—	—	—	64	27	46	46
幼稚園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合延數	4	4	23	23	84	85	20	20	879	592	32	36	60	42	104	92	73	59	2	2	1,281	—	955	—	
計實數	4	4	19	22	56	77	18	20	171	592	32	36	23	42	73	59	73	59	2	2	—	502	—	946	

## 學 事 獎 勵

學事獎勵ニ關シテハ從來ノ施設ヲ繼承シ本年度ニ於テハ實業學校、實科高等女學校、男女青年團、實業補習學校、青年訓練所、私立學校、教育會等ニ對シ補助金ヲ交付シ教育功勞者及優良學校ノ表彰ヲ行ヒ貧困兒童ノ爲就學シ得ザル兒童ノ保護救濟上補助金ヲ交付シ其ノ他普通教育獎勵、學校衛生、體育獎勵等銳意教育ノ普及振興ニ努メタリ

## 將來學事施設上須要ノ件

- (イ) 學校ノ設備改善並内容ノ充實ヲ圖ルコト
- (ロ) 就學事務ヲ改善シ貧困兒童ノ保護救濟ヲ全ウシ以テ義務教育ノ徹底ヲ期スルコト
- (ハ) 時代ノ趨勢ニ鑑ミ道德教育ノ向上ト國家觀念ノ涵養ニ努ムルコト
- (ニ) 高等小學校ニ於テハ實業科、家事科、手工科ノ設備ヲ完成シ學科擔任制ヲ加味シ内容ノ改善充實ヲ期スルコト
- (ホ) 師範教育ノ改善並設備内容ノ充實ヲ期スルコト
- (ヘ) 中等教育機關ヲ改善シ教育ノ機會均等ヲ圖ルコト
- (ト) 教員ノ實力養成ト資格ノ向上ヲ期シ服務意識ヲ一層旺盛ナラシムルコト
- (チ) 通年制實業補習學校ノ設置ヲ獎勵シ専任教員ノ増加ヲ圖リ又季節制ノ改善ニ努メ長所ヲ益々發揮セシムルコト
- (リ) 補習學校教員養成機關ノ整備ヲ圖ルコト
- (ヌ) 青年訓練ノ徹底ヲ期スルコト
- (ル) 青年團及女子青年團、少年團ノ振作發展ヲ圖ルコト
- (ヲ) 成人教育、公民教育ノ振興發達ヲ期スルコト
- (ワ) 各種教化團體ノ振興ヲ圖リ其ノ他完全ナル自活ヲ期スルコト

## 公學費及公學資産

昭和五年度ニ於ケル公學費總額ハ七百三十三萬六千三百三十七圓ニシテ内縣經濟ニ屬スルモノ百五十六萬五千四百五十四圓、市經濟ニ屬スルモノ十八萬一千百二十圓、町村經濟ニ屬スルモノ五百五十八萬九千七百六十三圓ナリ、之ヲ前年ニ比スレバ總額ニ於テ七十三萬三千七百十五圓乃チ九分一厘弱ノ減少ヲ示セリ

其ノ増減ヲ前年度ニ對比スレバ次表ノ如シ

	公 學 費 支 出			
	前 年 度	本 年 度	前 年 度 = 比 較	
			増	減
縣	1,744,546 <sup>円</sup>	1,565,454 <sup>円</sup>	—	179,092 <sup>円</sup>
市	175,852	181,120	5,268	—
町 村	6,149,654	5,589,763	—	559,891
計	8,070,052	7,336,337	—	733,715

尙種別ニ依リ前年度ニ對比スレバ次表ノ如シ

	公 學 費 支 出 額			
	前 年 度	本 年 度	前 年 度 = 比 較	
			増	減
小 學 校	5,415,193 <sup>円</sup>	4,992,577 <sup>円</sup>	—	422,616 <sup>円</sup>
師 範 學 校	306,738	273,779	—	32,959
中 學 校	468,356	456,612	—	11,744
高 等 女 學 校	396,573	309,080	—	87,493
實 業 學 校	828,962	754,675	—	74,287
實 業 補 習 學 校	10,822	10,442	—	380
實 業 教 員 養 成 所	11,484	8,317	—	3,167
盲 學 校	8,327	7,657	—	670
聾 啞 學 校	16,990	14,924	—	2,066
圖 書 館	2,103	1,919	—	184
教 育 參 考 館	188,456	148,548	—	39,908
青 年 訓 練 所	416,048	357,807	—	58,241
其 他	8,070,052	7,336,337	—	733,715
計				

而シテ増減ノ主タル事由ハ各町村學校共財政緊縮ノ方針ニ基キ經費ノ節約ヲナシ新事業ヲ避ケタルト諸物價ノ下落ニ依ル

公學費收入總額ハ三百三十二萬三千五百七十三圓ニシテ縣經濟ニ屬スルモノ七十二萬三千六百二十八圓、市經濟ニ屬スルモノ八萬七千八百七十九圓、町村經濟ニ屬スルモノ二百五十一萬二千六十六圓ナリ之ヲ前年ニ對比スレバ二十萬二千二百七十八圓乃チ六分五厘強ノ増加ヲ示セリ

其ノ増減ヲ前年度ニ對比スレバ次表ノ如シ

	公 學 費 收 入 額			
	前 年 度	本 年 度	前 年 度 = 比 較	
			増	減
縣	756,145 <sup>円</sup>	723,628 <sup>円</sup>	—	32,517 <sup>円</sup>
市	86,573	87,879	1,306	—

	公 學 費		收 入		額
	前 年	本 年	前 年	本 年	
			増	減	
町	2,278,577	2,512,066			233,489
村					
計	3,121,295	3,323,573			202,278

而シテ増減ノ主タル理由ハ生徒兒童ノ増加ニ伴フ授業料ト義務教育費國庫負擔金ノ増加ニ依ル

學校基本財産ハ現金預金及有價證券ニ於テ縣ハ二十六萬九千九百五十六圓、市一萬四千六百六圓、町村九十二萬百六十五圓、計百二十萬四千二百二十七圓アリ土地ハ町村ノミニシテ百九十八萬七千六百五十坪ナリ、尙本年新ニ其ノ他ノ價額三百二十一圓ヲ生ジタリ之ヲ前年ニ比スレバ金額ニ於テ三十萬七千二百四十六圓ヲ増加シタルモ土地坪數ニ於テ三萬一千八百九十坪ヲ減少シタリ又積立金ハ市千四百十六圓、町村十六萬七千五百八十二圓、計十六萬八千九百九十八圓ニシテ前年度ニ比シ十六萬四千二百三圓ヲ減少セリ、而シテ之等金額ノ管理ニ就キテハ確實ナル銀行預金、郵便貯金ニ依ルモノ多ク有價證券之ニ次ギ何レモ確實ナル方法ニ依リ利殖ヲ圖リ又土地中田畑ハ貸付シ森林其ノ他ハ植樹ヲ爲ス等收益ノ増加ニ努メツツアリ

教育資金

本年度ニ於ケル貸付金額ハ三萬八千六百圓、小學校教育獎勵普及改善ノ爲支用シタル普通教育獎勵金四千八百八十一圓十五錢、小學校教員疾病療治料千百二十圓ニシテ本年度戻入タル金額ハ三萬三千三百二十七圓十錢、資金ヨリ生ズル收入七千七百十一圓四十八錢ナリ而シテ本年度未現在貸付金額十萬三千七百四十九圓三十八錢ナリ

教育及學藝ニ關スル資金ノ類

學事獎勵ノ爲獎學資金ヨリ本年度ニ於テ支出シタル金額ハ五百二圓ニシテ縣立學校優良生徒ヲ表彰シ夫々賞品ヲ授與シタリ、本年度末現在高ハ七千七百七十圓五十六錢八厘ナリ、徳川獎學基金ハ獎勵費トシテ四百二十五圓ヲ支出シ中等學校及小學校生徒兒童ノ研究獎勵ニ充テタリ、本年度末現在高一萬五千七百圓四十一錢ナリ

體育獎勵基金ハ獎勵費七千三百二十圓六十二錢ヲ支出シ斯道獎勵ニ努メタリ、本年度末現在高ハ一萬七千三百七十九圓六十六錢ナリ

兒童就學獎勵資金

大正十三年御下賜アラセラレタル資金二萬三千八百六十三圓ヲ蓄積シ之ニ縣ニ於テ毎年相當金額ヲ資金ニ編入シ尙之ヨリ生ズル收入ヲ以テ本年度ニ於テ六百六十圓ヲ支出シ貧困兒童獎勵金ヲ交付セリ

年度内ニ於ケル市町村貧困兒童獎勵ノ狀況ヲ示セバ次表ノ如シ

市町村兒童就學獎勵費給與狀況

種 別	受 給 人 員			支 給 金 額
	男	女	計	
教 科 書	289	231	520	737 <sup>円</sup>
學 用 品	774	688	1,462	1,472
教 科 書 學 用 品	1,225	1,060	2,285	4,096
被 服	409	318	727	771
給 食 費	31	25	56	337
被 服 教 科 書 品	278	182	460	1,143
醫 療 費	75	82	157	80
雨 傘 費	101	93	194	66
現 金 給 與	42	52	94	377
食 料 學 用 品 被 服	2	16	18	93
被 服 及 學 用 品	38	29	67	392
學 用 品 食 料 品	8	2	10	52
教 科 書 被 服	—	3	3	16
計	3,272	2,781	6,053	9,682

## 男女青年團體事業獎勵資金

大正十四年御下賜アラセラレタル資金一萬八千圓ヲ蓄積シ之ニ對シ年々縣ニ於テ相當金額ヲ資金ニ編入シ之ヨリ生ズル收入ヲ以テ本年度ニ於テハ獎勵金千三百四十九圓五十錢其ノ他ノ公益團體ニ對スル補助金四千七十五圓ヲ支出シ體育指導及男女青年團體事業ノ指導獎勵ニ努メタリ

## 市町村立小學校教員加俸資金

市町村立小學校教員加俸資金ハ總額十萬千六百四十五圓九錢ニシテ年功加俸支給金額九萬三百九十七圓、特別加俸四千六百四十五圓、恩給基金納金九百二十九圓七十四錢ニシテ差引差額五千六百七十三圓三十五錢ヲ翌年度ニ繰越シタリ

## 公立學校職員年功加俸資金

公立學校職員年功加俸資金ハ總額六萬六千三百九十四圓八十一錢ニシテ年功加俸支給金額六萬四千八百八十四圓五錢、國庫納金五百五十五圓四十四錢、恩給基金納金八十二圓七十錢ヲ支出シタリ、而シテ其ノ差額八百七十二圓六十二錢ヲ翌年度ニ繰越シタリ

市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル交付金

市町村義務教育費國庫負擔法ニ依リ本年度管内市町村ニ交付セラレタル金額ハ二百十四萬七千八百三十二圓ニシテ其ノ大部分ハ教員ノ俸給ニ充當シ住民ノ負擔輕減之ニ次ギ市町村經濟ヲ幾分緩和スルニ至リタルモノト認メラル之ガ支途ヲ種別スレバ次表ノ如シ

種 別	市	町	村	計
教員俸給ニ充當シタル金額	37,461 <sup>円</sup>	380,261 <sup>円</sup>	839,654 <sup>円</sup>	1,257,376 <sup>円</sup>
教員増俸ニ充當シタル金額	—	7,392	17,401	24,793
教育施設改善ニ充當シタル金額	—	27,117	82,861	109,978
住民負擔ノ輕減ニ充當シタル金額	—	215,028	466,279	681,307
他ノ經費ニ充當シタル金額	—	13,635	60,743	74,378
計	37,461	643,433	1,466,938	2,147,832

公學費及公學資産増減理由

縣本年度支出總額ハ百五十六萬五千四百五十四圓ニシテ前年ニ比シ十七萬九千九十二圓ヲ減少シタリ之ガ主タル事由ハ財政緊縮ニ基キ各項目共常ニ經費ノ節約ヲナシタル結果ナリ收入總額ハ七十二萬三千六百二十八圓ニシテ前年ニ比シ三萬二千五百十七圓ヲ減少セリ其ノ主タルモノハ寄付金雜收入ノ減少ニ因ル土地ハ前年同様ニシテ建物ハ總坪數ニ於テ五十八坪ヲ増加シタルハ主トシテ水戸商業ノ増築ノ結果ナリ土地價額乃至器具價額ニ於テ十四萬千七百十六圓ノ減少ヲ見タルハ物價ノ下落ニ伴フ土地價額、建物價額ノ減少ニシテ其ノ他ハ何レモ増加シツツアリ

市本年度支出總額ハ十八萬千二百二十圓ニシテ前年ニ比シ五千二百六十八圓ヲ増加シタルハ學校基本財産ノ蓄積其ノ他各種教育團體ノ補助多カリシニ依ル收入總額ハ八萬七千八百七十九圓ニシテ千三百六圓ヲ増加シタルハ國庫補助ノ多カリシニ因ル公學資産ノ土地坪數、建物坪數ハ前年ト差異ナキモ土地價額乃至器具價額ニ於テ前年ニ比シ二千八百八十六圓ヲ増加シタリ

町村本年度支出總額ハ五百五十八萬九千七百六十三圓ニシテ前年ニ比シ五十五萬九千八百九十一圓ヲ減ジタリ其ノ主タル事由ハ各町村共經費ノ節約ヲナシタルニ因ルモノナリ收入總額ハ二百五十一萬二千九百十五圓ニシテ前年ニ比シ二十三萬四千三百三十八圓ヲ増加シタリ其ノ主ナル原因ハ國庫補助ノ多カリシニ依ル、公學資産ノ土地坪數ハ敷地百二萬二千八百十八坪附屬地六萬四千六百二十七坪建物坪數教場十二萬七千八十坪其ノ他六萬千五百九坪ニシテ前年ニ比シ敷

---

地千八十七坪ヲ増シ附屬地千七百七十七坪ヲ減シ教場四千九百六十坪其ノ他百三十七坪ヲ増加シタリ、又土地價額乃至器具價額ニ於テハ物價ノ下落ニ依リ土地建物共減少シタルモ他ハ何レモ相當増加ヲ示セリ